



▲楽しいね

「福と幸 心算りて 祭りの日」  
116回の土別まつりは7月14、15、16日  
鈴木勉祭典委員長はじめ役員専心  
奉仕、晴天下、大賑わいでした。  
境内野外舞台での宵宮フェスティ  
バルは吹奏楽歌謡民謡ショーで  
幕開け。15日朝9時77回御神幸式  
発典、装飾車両を列ね23ヶ所駐  
興祭、国道40号線中心街は土別小  
僧会を核に各地みこし会70余人が



▶ 寺社方さん

威勢よく担ぎ、土別南中生60人が  
白丁奉仕し威儀物を奉持、斎員俗  
人役員供奉員が徒歩行列を組み渡  
御しました。駐興所では昨年に続  
き大國舞が奉納され、小餅や菓子  
が撒かれ人気を呼びました。  
自衛隊音楽隊・土中・南中・土  
別幼稚園の音楽行進に続いてお稚  
児さん・ジャランボー・子供花み  
こし・乙女舞・つくも太鼓と連な  
り、別順路で4基の子供御輿が巡  
り、33回中央通歩行者天国お祭広

# 姉天下、お祭一色に!! 盛とった116回 土別まつり



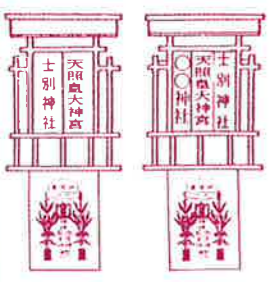
◆7月8、11日姉妹都市豪州ゴ  
ルバンマルワリー市長ほか公式訪  
問団が来訪、10日来社され、殊に  
例祭前拝殿に奉安の大神輿を真近  
かに、肩を入れたり感慨深いご参  
拝、社前で記念撮影されました。  
◆日独スポーツ少年団交流事業が  
4年ぶり市体協で受入、7月27日  
来市、ドイツ少年7人を含む20人

## 新しいおふだをまつってお正月を

もの皆あらたまる新年を迎  
える前に、しめなわを新しく  
し、神棚をお掃除して、新し  
いおふだをお祀りしましょう。  
神棚には、天照皇大神宮と  
土別神社の2体を合せおまつ  
りするのが正しい祀り方です。

### 天照皇大神宮

### 土別神社



生活や職業上の神様、各神  
社の御神札も合せてお祀りし  
てよろしいです。  
歳徳様(としがみさま)は  
正月中、神棚や床間など清浄  
な所に張ってお祀りします。  
古いおふだがいっぱいにな  
りましたら神社へお持ち下さ  
ればお納めいたします。  
喪のあつた場合も、新しい  
おふだはお受けし、鏡もちな  
どもお供えます。  
家庭や職場に中心となる神  
棚を祀るのは民族の美風です  
新家庭や未だお祀りしていな  
い方もぜひお祀りしましょう。  
神仏を拝み良い手本を示す  
ことで、子供も見習って心豊  
かに生長します。お正月は家  
庭教育の大事な機会としても  
受け継がれてきたのです。

## 第42回お祭り写真コンテスト

57点の応募を賜り報道関係者に  
審査を頂き、8月17、27日、市生  
涯学習センターいぶきで写真展が  
催されました。ご協力ご応募に厚  
くお礼申し上げます。  
金賞 楽しいね 中 健一様  
銀賞 神輿の男 中原和俊様  
銀賞 寺社方さん 木島喜久雄様  
銅賞 じいとはばばさん 田中 団様



▶ 神輿の男

場では多彩な催し、柔道、剣道、  
16日は子供相撲、弓道大会、3日  
間市民文化センターで各種展示会  
や茶会が開かれ、露店街も終日賑  
わい、テーマ通り福と幸に心癒る  
お祭が展開されました。  
なお15日朝8時の御例祭には滝  
川市から國學院短大の田村弘学長  
と森悟朗准教授が参列されました。

## まいじら



◆吉井秀二氏は11月7日子息の任  
む札幌市へ転出、永年の神恩に奉  
謝、金二〇万円をご奉納。10月20  
日令子夫人と来社奉告祭 感謝状  
を贈呈(写真右)、一〇〇周年基  
金として篤志を活かす予定です。  
お子様も他郷で夫々活躍、永年  
氏子総代、平成19年には祭典委員  
長も奉仕され顧問としてご尽力中  
でした。令子夫人も敬神婦人会員

銅賞 笑ひながらシンキョ 森川英司様  
銅賞 つかれたよう 穴戸俊夫様  
入選 福の神 近野 強様  
入選 気合い 中 健一様  
入選 祭りの獅子 中原和俊様  
入選 子供すもう 市川君子様  
佳作 はたきこみ 栗野 薫様  
佳作 真劍勝負 榎原節子様  
特別奉納11枚 加藤幸男様

でもあり、三連休で大賑わいだった  
お祭やお二人共土別生れて話題が  
尽きない懇談の場となりました。  
◆樞原市の佐藤隆士ヨシ子夫妻は  
古希記念に金一〇万円を送付奉献  
されました。  
◆佐藤元保禰宣は神職階位明階合  
格記念に本殿御雇用の本金鍍金仕  
上舟型御錠一式と餅米30キロを奉  
納されました。

◆京都市相原満・新座市佐藤允克  
加古川市佐藤慈宏・札幌市三分一  
正記・同斉藤和子・同花松咲子・  
同糠塚信子・大阪府高柳章・函館  
市佐藤実・釧路市瓜生和幸・旭川  
市近藤憲文の各氏、他篤志ご奉納  
を賜っております。  
◆金井恵美子氏は正月・節分・春  
秋大祭・例大祭ほか各祭典毎に鏡  
餅他奉献されております。  
◆坪田元義氏・岡崎達氏・安田産  
業株式会社様は本年も夫々餅米一  
俵を奉献されました。

◆例祭前7月5日宮下自治会15人  
は境内清掃、8日九十九大学自治  
会と同窓会120人は境内草刈社殿清  
掃、13日には株式会社田中工業田  
中勝則社長はじめ50人が社殿周囲  
草取、17日宮下さくら会は清掃を  
それぞれご奉仕されました。  
◆このほか数々の奉献ご奉仕ご協  
力、野鳥りス餌寄贈等のまごころ  
と併せ心から感謝申し上げます。

平成27年、千支は乙未、60  
千支の32番目。乙は十千の第  
2位、屈曲している形です。  
未をひつじとしたのは、中  
国音が羊の啼き声と似ている  
から。最も古い家畜で、1億  
1千万年前、今のイラク附近  
で家畜化が始まりました。  
今では3千余種、世界で11  
億頭、最高は中国で1億3千  
億頭、インド、豪州と続き、日



▲当社絵馬 (竹内國泰氏画)

本はわずか1万2千頭、自給  
率は4%で本道が過半数を占  
め土別では922頭の飼育で  
す(10/1現在土別市調)。  
洋服類、ウールの和服など  
みな羊のおかげ。食用ジンギ  
スカンの普及は、昭和30年代  
から平成16年には北海道遺  
産にも選ばれています。  
推古天皇の西暦599年に  
今の韓国から渡来したのが事  
初め、食用飼育は江戸五代徳

川綱吉將軍の時、羊毛目的の  
牧羊は明治以降です。  
土別では90年前、川西小の  
菊田佐市校長が中心となり綿  
羊組合を設立、幾多の苦難を  
経て、昭和11年昭和天皇本道  
行幸の際、ホームズパン2反  
お買上げ、平野代次郎氏飼育  
の綿羊が天覧に浴した輝かし  
い歴史を刻んでいます。  
戦後の衣食欠乏時代、羊を  
飼い毛を刈り、毛糸を紡いで  
手袋や靴下、セーターを手編  
するのが普通でした。飼育数  
は4千頭以上でしたが、化繊  
の普及で激減しました。  
昭和42年の末年、市は学田  
の綿羊牧場にサフォーク種を  
放牧、紆余曲折を経て「サフ  
オークランド土別」として広  
く知られるようになりました。  
平成11年には豪州ゴールバ  
ン市と姉妹都市提携、本年は  
久方ぶりに市長はじめ公式来  
市され、例祭前当社にご参拝  
お神輿に感動の由、両市交流  
の輪が広がっています。  
土別ゆかりの平成三回目の  
末年、幸や祥、美や善の良字  
も多く、「和の徳」がある羊  
にあやかっ、穏かで実り豊  
かな幸せの年を招き寄せたい  
ものです。(公)



つくも山 第185号  
平成26年12月5日  
士別神社社務所  
〒095-0008  
北海道士別市九十九山  
☎23-2243・FAX22-2553

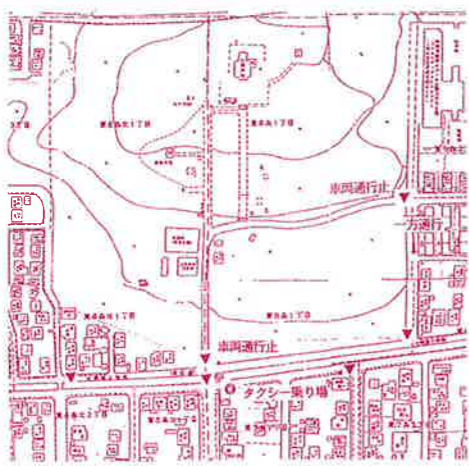
士別神社ホームページ  
検索

## 初もうで

元且午前0時、太鼓を打ちます。拝殿のついでには夕方5時まで開いております。  
▼おみくじ、ハマ矢、絵馬、熊手、各種お守り等は元且授与所又は社務所へ  
▼元且のお祓い、ご祈禱も同様受付奉仕  
つくも太鼓／午前0時より社務所前野外舞台上  
弓道初射会／午前0時より境内弓道場で  
日本詩吟学院岳風会初吟詠／昼11時より拝殿奉納

## 歳旦祭 元且午前10時より齋行

おさそい合わせご参拝ください。  
下士別二之宮八幡神社では午前11時よりつくも梯子乗り保存会／4日午前8時20分頃境内空手道武徳会初けいこ／4日午前11時30分より消防殉難碑慰霊祭・出初式防火祈願祭／6日午前10時20分



- ◆31日午後11時30分～1日午前1時30分
- ◆車両通行禁止 市道士別神社通の東8北1から東8の1まで290m、市道東広通東8北1から東8の1まで260mと東7の1の130m
- ◆一方通行 市道桜丘1丁目通の東8の2の120m
- ◆午前1時30分より夕方まで一方通行で境内に入れます

古峯龍尾神社祭／1月13日午後2時より境内古峯龍尾神社  
紀元祭／建国記念の日、2月11日午前11時より  
人形供養祭／3月3日午後3時より社務所前広場で。  
不要の人形等、前日又は当日まで社務所へ!!



## 消防殉難碑

昭和3年帝国製麻綑士別工場火災で殉職の鈴木久一郎消防小頭を祀り、北海道庁斎藤亮警察部長の揮毫士別警防団が昭和15年建碑して75周年。毎年1月6日出初式の前に慰霊祭と火防安全祭が消防第1・第2分団主催し行われます。

士別神社  
TEL23-22443  
FAX22-25503

平成27乙未年 厄年・祝年 数え年＝生まれた年を1才として数える			
性別	数え年	生れ年エト	該当
女	18	平成10年	とら 前厄
	19	平成9年	うし 本厄
	20	平成8年	ね 後厄
男	24	平成4年	さる 前厄
	25	平成3年	ひつじ 本厄
	26	平成2年	うま 後厄
女	32	昭和59年	ね 前厄
	33	昭和58年	ぬ 本厄
	34	昭和57年	いぬ 後厄
男女	37	昭和54年	ひつじ 当り年
	41	昭和50年	う 前厄
男	42	昭和49年	とら 本厄
	43	昭和48年	うし 後厄
	49	昭和42年	ひつじ 当り年
男	61	昭和30年	ひつじ 還暦
	70	昭和21年	いぬ 古稀
	73	昭和18年	ひつじ 当り年
女	77	昭和14年	う 喜寿
	80	昭和11年	ね 傘寿
共	88	昭和3年	たつ 米寿
	90	大正15年	とら 卒寿

節分祭 福まき  
2月3日 3時



午後3時からの節分祭に引続き、カミシモ着用、年男、年女により賑やかに福まき、景品入りの福豆、福餅、福飴など沢山まきます。  
奉仕年男年女の受付、厄除け招福、諸願成就  
1月30日迄、神社総代又は社務所へお申し込み下さい。  
平成27年の当り年、未年生まれ、厄年歳祝、特別奉仕ほか、どなた様でもご奉仕を!!  
参加初穂料 金一万円(カミシモ含)  
神事奉仕、直会、福マス、未年土鈴、絵馬、福豆、福餅ほか授与。  
厄祓い祈願の受付 (祈願料は1月の厄祓いと同一)  
節分の日厄祓いも受付。午前8時から正午まで随時受付奉仕します。又は午後2時40分まで社務所へおいで下さい。

松納祭 どんどやき  
1月15日(木) 午前9時火入式  
20日まで行います  
□社務所前、門松やしめ飾り、古神札などをお持ちの上お焚き上げ下さい(プラスチック類は燃やせません)  
夜間の持ち込みはできません!  
朝9時より夕方4時で終わります

はたちの旅立ち  
**成人祭**  
1月11日(日)  
午後0時30分より

はればれとご参拝を!!  
□当日時間までに社務所へ(会費等不要)  
□新成人の皆様の前途を祝い、ご活躍を祈願してお守り・お赤飯他をさしあげます。

士別神社

厄年の厄を祓ってお役目の良い年に...  
厄はらい 心身 祈願祭  
すがすがしい新春の神前で健康と繁栄を祈誓しましょう

日 時 1月3日(土) 午前10時より1回  
1月11日(日) 午前10時より1回  
1月12日(祝日) 午前10時より1回  
※社務所で受付をします。時刻20分前迄においで下さい。  
祈願料 三、〇〇〇円以上のお志  
当日社務所受付へ。祈願の後、厄除神符・お守り・「神饌・長寿ばし・縁起ふきん等を授与します。  
※他の期日または出張奉仕希望の方は社務所へご連絡下さい。